

令和4年度
あなたのふるさと薩摩川内！
(通称：あなふるだせん！)
～第4弾～

企業版ふるさと納税
「竹林ビジネス産業化プロジェクト」
紹介

令和4年度「あなふるだせん！」第4弾は、 企業版ふるさと納税

「竹林ビジネス産業化プロジェクト」をご紹介します！

- 地域資源の竹の買い取りを促進し、次の効果を目指します
 - (1) 地域資源、自然素材の活用による循環型地域の形成
 - (2) 里山の環境改善
(鳥獣被害減少等・土砂災害リスク軽減・水源涵養機能強化・コミュニティ維持)
 - (3) 竹林ビジネスの新たな担い手創出・育成

市内のチップ工場
へパルプ用竹材
等を搬入

買取単価への
上乘せ助成
(3.3 円/kg)

竹の伐採・搬入
者及び竹材供給
量の増加を促進

企業版ふるさと納税充当

直近3年間の竹買取への補助実績

	R 1	R 2	R 3
重量	1,869,380kg	1,990,810kg	1,929,210kg
補助額	6,168,954円	6,569,673円	6,379,428円

➡ 買い取った竹はどうなる？



① 原料

② 燃料

③ 新素材

1 これまでの技術を活用して紙へ（竹紙の作成）



2 地産地消のエネルギーとして（竹ボイラーの燃料）



3 新しい技術を活用して新素材へ（セルロースナノファイバー）



新素材
「セルロースナノファイバー」を



新素材「セルロースナノファイバー」の可能性

※ C N F = 「セルロースナノファイバー」

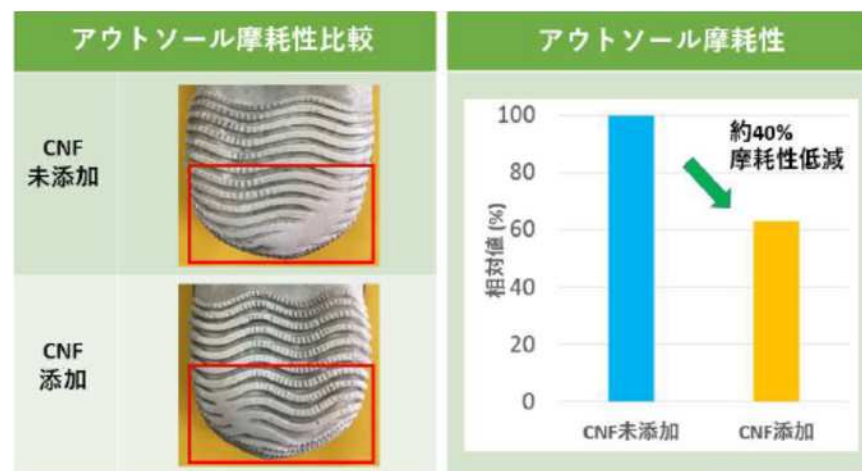


「ボディウォッシュ」「ボディミルク」 の化粧品原料に採用

竹由来CNF を配合することにより、よごれや古い角質などを絡め取って洗い流します。素手だけで優しく洗うことにより肌への摩擦を軽減し、つるすべ肌へと導きます。

スニーカーのラバーソールの 添加剤として採用

竹由来CNF を配合することにより、従来のソールと比べ摩耗性を約40%低減し、耐久性と環境への配慮を兼ね備えた地球に優しい一足となっています。





「スピーカー」「ヘッドホン」

の原料に採用（生産終了）

スピーカーやヘッドホンの振動版に竹由来CNF を配合することにより、軽量化、高剛性化、高内部ロスといった、スピーカーの振動版に理想的な特性を実現

農業分野への活用

竹由来CNFで、農林水産省が策定する「みどりの食料システム戦略」で推進する総合的病害虫・雑草管理の「物理的防除」に対応した農業資材の試験販売を開始しました。

■ 薩摩川内市の竹林について

鹿児島県は全国一の竹林面積（17,907ha）を有し、その中でも薩摩川内市は、県内2位の竹林面積（2,212ha）を有します。

しかし、高齢化や担い手不足等により竹林の管理が行き届かなくなり、里山の環境悪化や鳥獣被害等の原因となる「竹害（放置竹林）」が深刻かつ喫緊の課題となっています。 その竹を、地域資源として活用します！